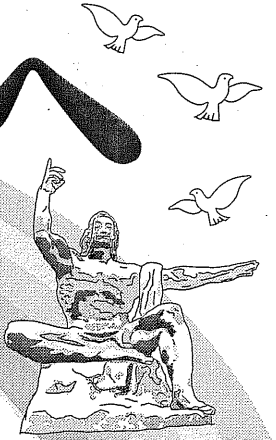


核兵器のない世界へ

世論と運動さらに大きく



核兵器廃絶への決意で一つになった閉会総会 (9日長崎=山本一夫撮影)

原水爆禁止07年世界大会

今年も原水爆禁止世界大会が3日から9日まで広島、長崎両市で開催されました。大会には、3カ国の政府とアラブ連盟をふくむ20カ国以上の海外代表、そして全国各地から1万人以上が参加。広島、長崎の両市長もあいさつし、核兵器廃絶をめざす各国政府と自治体、市民の共同をいっそう発展させる場として成功をおさめました。

広島、長崎への原爆投下 (NPT)再検討会議で核 あらゆる種類の軍事力に
から62年目の夏を迎えて、保有国も合意した、核兵器 による威嚇と行使を公言し、
この地球上には今なお2万 廃絶の「明確な約束」は、 新たな核弾頭の開発を進め
7千発近くの核兵器が蓄積 その後実行される気配すら ています。
・配備され、人類の生存が ありません。それどころか、 こうした中で開催された
脅かされ続けています。2 最大の核超大国である米国 原水爆禁止07年世界大会
000年の核不拡散条約 は「核、非核の双方を含む は、「2010年の核不拡

散条約(NPT)再検討会 議にむけ、草の根の運動、 市民社会と政府の連帯した 力で、核兵器廃絶の「明確 な約束」の実行をせよとて
いく決意が高まっている (9日に採択された「長崎 からのよびかけ」として、
以下のような行動をよびか けました。(一部省略)
○2010年のNPT再検 討会議にむけ、核兵器廃絶 の世論と行動を大きくひろ げましょう。国連と諸国政 府に核兵器全面禁止条約の 協議開始を求めましょう。
○国連総会、NPT再検討 会議準備委員会を節目に、 「すみやかな核兵器の廃絶 のために」署名を大きくひ る活動をいっそう強めましょ

21万の命を思い折鶴に

世界青年のつどい



7日、長崎市で開かれた 「核兵器なくそう・世界青 年のつどい」では、同実行 委員会のよびかけに応じて 全国から持ち寄られた折鶴 が披露されました。小林秀 一実行委員長は「折鶴は、 席からいっせいに折られ、 かけられると、会場全体が 「おー」という歓声と共

に大きな拍手がわき起こ りました。
折鶴は、北海道根室市 の小学校や沖縄県の青年団 など文字通り日本全国から 寄せられ、1945年末ま でに原爆によって死亡した といわれる21万をはるかに 超えて、約50万羽が集まり ました。
1万9400羽を持ってき た静岡県「平和なみかんの 旅ツアー」の石原和樹さん (高校3年生)は「家族や 友だちに折ってもらいな がら、原爆で亡くなった一人 ひとりの命のことを考えて もらえたことは、嬉しかっ た」と話しました。
小林委員長は「原爆が奪 った一つひとつの命に向き 合うことが継承の原点。21 万羽を大きく超えて目標を 達成できたことは、今後の 運動の確信になる」と語り ました。(6面に関連記事)

ウの目

今年の平 和記念式典 の平和宣言 で秋葉広島 市長は「唯 一の被爆国 である日本 政府には、 ます謙虚に被爆の実相と 被爆者の哲学を学び、そ れを世界に広める責任が あります。世界に誇る べき平和憲法をあるがま まに遵守し、米国の時代 遅れで誤った政策にはっ きりと「ノー」と言うべ きです」と述べました。
アメリカの言うがままに 憲法を改悪し、再び戦争 する国にしようとする安 倍首相はこの宣言をどの ように聞いていたのだし ょうか▼6日の式典の 後、被爆建物のレストハ ウス3階に戦前平和公園 一帯に住んでいた人々が 集まりました。市がこの 建物を取壊そうとした 時、「ここは子どもの頃 よく遊んだ場所、ここが 残っているから自分の家 がどの辺にあったかわか る。ここは元あった街の 墓標なのだ」と言って取 壊しに反対した人々の年 一回の顔合わせです。で も病气や死亡などで年々 数が減っています。家族 を探して跡跡を歩きま わった人、学童疎開で自 分だけ助かり施設で育っ た人、62年たっても心の 傷は消えていません。と ても「原爆はしかたがな った」などとは言えませ ん。(ゆ)